
第 31 回 日臨技関甲信支部・首都圏支部合同 病理細胞検査研修会 開催案内

主催：(一社) 日本臨床衛生検査技師会 関甲信支部

実務担当技師会：(公社) 茨城県臨床検査技師会

【テーマ】 「デジタルパソロジーの現状と展望」

【日時】 令和5年2月26日(日) ～ 3月5日(日)

【場所】 (日臨技オンデマンドシステムによる web 開催)

【定員】 250 名 ※先着順

【受付】 令和4年12月23日(金) ～ 令和5年1月22日(日)

※日臨技ホームページの会員専用サイト『事前参加申請へ』



【受講料】 1,000 円 (登録されたメールアドレスに振込口座と期日をお知らせ)

【生涯教育点数】 専門 20 点

【認定病理点数】 申請中

※認定病理点数およびクレジット取得にはすべてのプログラム受講とアンケート回答
が必須

【研修会事務局】

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1 筑波大学附属病院 病理部 中川 智貴

TEL : 029-853-3865 (直通) / E-mail : nakagawa.tomoki.xj@alumni.tsukuba.ac.jp

【プログラム】

1. デジタルパソロジーの概要 / 基礎編

「デジタルパソロジーの現状と今後の展望」

講師： 森 一郎 先生 （国際医療福祉大学医学部病理・病理診断学 教授）

2. デジタルパソロジーの活用（地域密着型）

(a) 遠隔病理診断ネットワークの構築と運用

「福島県遠隔病理診断ネットワーク 問題点とコロナ禍の影響」

講師：橋本 優子 先生 （福島県立医科大学 医学部 病理病態診断学講座 教授）

(b) 遠隔病理診断ネットワークにおける臨床検査技師の関わり

「福島県遠隔病理診断ネットワークの現状と臨床検査技師の役割」

講師：佐藤 崇 技師 （福島県立医科大学会津医療センター 病理診断科）

3. デジタルパソロジーの活用（先進型）

「がん研におけるデジタルパソロジー導入と運用の実際」

講師：高松 学 先生 （公益財団法人がん研究会がん研究所病理部 研究員）

4. AI を用いた最新技術と病理診断の未来像

「最先端研究から考えるデジタルパソロジー時代の病理診断」

講師：石川 俊平 先生 （東京大学大学院 医学系研究科 衛生学分野 教授）

5. デジタルパソロジー時代における臨床検査技師のあり方・向かうべき方向性

「病理診断の燈火（ともしび）」

座長：古屋 周一郎 技師 （筑波大学附属病院 病理部）

講師：松野 吉宏 先生 （北海道大学病院病理部 部長・教授）